

道徳だより

ひだまり



川北町立中島小学校

平成29年度

第2号 6月15日

じめじめムシムシ…梅雨の時期がやってきました。なかなか日中の気温が上がらず、プールには入れませんが、子どもたちは元気いっぱいがんばっています。

今回は、6月10日(土)の授業参観の道徳授業の様子(1、2、3年生)をお伝えします。

◆ 1年生 ◆ 「おかあさんのつくったぼうし」(家族愛)



<保護者の方の感想>

「おかあさんがつくってくれたぼうし」の話の中から、アンデルスの気持ちを読み取るとのことと、同じような意見になりそうかな?と思っていたら、子ども達からは、次々と意見が出てきて、考える力や相手のことを思う気持ちがついているように感じました。また、自分と違う意見を聞くことができるし、それを聞いて、また考えたりできていたと思います。

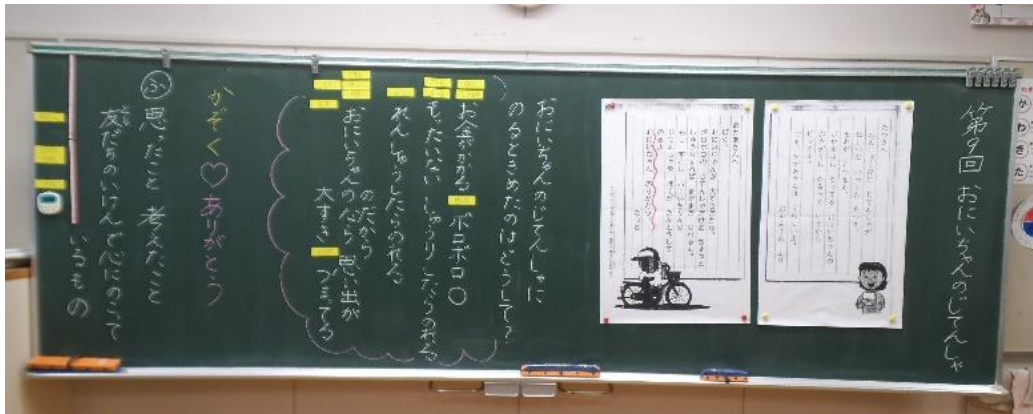


◆ 2年生 ◆ 「おにいちゃんのじてんしゃ」(家族愛)

<保護者の方の感想>

『男の子がお兄ちゃんのボロボロの自転車に乗りたい』と言った時の気持ちをみんなで考えている場面に成長を感じました。「男の子が親の家計を心配して、親が助かるから」とか「お兄ちゃんが喜んでくれるから」とか「自転車が大切に使ってくれて喜ぶ」とか「お兄ちゃんの思い出がつまっているから」など、親・お兄ちゃん・自転車といういろいろな視点で気持ちを考えられている2年生にびっくりしました。





◆ 3年生 ◆ 「上手になるために」(節度・節制)



<保護者の方の感想>

本日は道徳授業をありがとうございました。何かでがんばって1番になっても、大切なあいさつや整理整頓ができていなかったら、真の1番ではないですよ。とても大切なことを教わった授業でした。本人も帰ってきてすぐにそのことを話してくれました。心に残ったようです。



保護者の皆様、お忙しい中、アンケートを書いていただき、ありがとうございました。寄せられたご意見すべてを道徳だよりに掲載することはできませんが、職員一同でしっかり受けとめ、今後の授業改善に生かしてよりよいものにしていきたいと思ひます。なお、11月2日(木)の授業参観では、4・5・6年生が道徳の授業をする予定です。

校長先生から

今回は、低学年の道徳の授業を見ていただきました。「家族愛」「節度・節制」について、子ども達は、お話の登場人物の行動を通して、よく考え発言していました。「家族愛」では、唯一無二の家族に対する思いを改めて考える機会となっています。また、「節度・節制」では本当の1番になることの意味や難しく言えば人の生き方を考える機会でありました。今回感想をいただきましたように、ご家庭でもぜひ話題にして話をしてください。学校でも家庭でも繰り返し考えることが、道徳的心情の深まりに繋がるのではないかと思います。

